

山形中央生コン協組、山形県コンクリ圧送協

西村山広域 行政事務組合と締結へ

災害消防活動の応援協定

山形中央生コンクリート協同組合（成田潔理事長）と山形県コンクリート圧送協会（佐藤隆彦会長）は10日、西村山広域行政事務組合（佐藤洋樹理事長）と災害時における消防活動応援に関する協定の締結式を、山形市にある山形中央生コン協組の大会議室で行った。

協定内容は、災害発生時に山形中央生コン協組がコンクリートミキサー車を用いた消防用水の供給活動、山形県コンクリ圧送協はコンクリートポンプ車を活用した消火活動などを同組合から要請を受けた場合に応援するというもの。これにより、地震などで消火栓が使用できなくなった場合に貯水槽に給水を行うことや、消防車と協力して高所からの放水を行うことが可能となる。また、コンクリートポンプ車は吸引も可能な



左から成田理事長、佐藤消防長、佐藤会長

ため、集中豪雨時の排水活動にも貢献することが期待されている。

締結式には、両団体と西村山広域行政事務組合から8人が出席して協定書に調印。成田理事長は「当組合では生コンミキサー車を約100台保有しており、万が一の際には圧送協会と連携して消防活動に協力したい」と意気込みを述べた。

また、佐藤会長は「コンクリ2団体と自治体による災害協定締結は、山形市、天童市、上山市に次いで県内で4例目となる。当協会では55台の生コン圧送車を保有しているので、万全の準備が整っている」と語った。

西村山広域行政事務組合の佐藤知消防長は「有事の際は協定を基に地域住民の安全・安心のために皆さんと協力し、有効な消防活動につなげていきたい」と期待を寄せた。